

## 巻頭言

## 「安心を伝える教会」

九州教区長  
小泉 基

日本福音ルーテル教会 九州教区

## 九州教区報

発行所 日本福音ルーテル九州教区事務所  
〒812-0028 福岡市博多区須崎町 3-9  
TEL 092-281-4204 ・ Fax 092-262-6373  
E-Mail kyushu-k@jelc.or.jp  
HP <http://www.jelc-kyushyu.org>発行人 教区長 小泉 基  
編集責任者 書記 岩切 雄太

3月の教区総会で、新たに教区長に選任されました。大きな責任を伴う働きであることを思って、神さまの導きを祈っています。

さて、3月の総会では新しい宣教方策が採択されました。その中で強調されていたのは、「安心を伝える教会」という視点でした。わたしたちの社会生活においてもそうですし、また教会生活の中であってさえ、わたしたちはさまざまな不安に囲まれています。けれどもそうした中であって、わたしたちルーテル教会は、人々の不安をあおり立てて信者獲得につなげるような伝道の方法を用いてはきませんでした。ルーテル教会が大切にしてきた落ちついた礼拝の中で、めぐみに満ちた聖餐がわかちあわれ、聖書の基盤に立った確かな福音が語られる。そのことが、神さまへの信頼と希望に満ちた安心した信仰生活を導いていく、と信じてきたからです。

さらにまた、信仰というものは、心の中の平安さえ求めていけばよいというものでもありません。わたしたちは生活を生きる中でこそ、具体的な多くの心配事に囲まれているからです。わたしたちの日常の日々におけるさまざまな不安。子育てのこと、将来のこと、介護のこと、死への備えのことなど、わたし達のいのちをケアしていくために、九州教区には、教会につながるたくさんの施設の働きがあります。また、社会・奉仕部や九州セミナリオなど、教区のさまざまなはたらきも、わたしたちの生活全体に関わる問題を扱います。それらのすべてが、わたしたちの教会の宣教の問題であるからです。

教会のおかれた状況は変化していきますから、これまで経験してこなかったさまざまな変化にも対応していかなければならないでしょう。けれども、どのような変化があったとしても、教会は、人々を平安に導く宣教のために前進していく、ということに変わりはないはずですから、教区の教会と諸施設につらなるみなさん方と共に、信頼のうちに、希望をもって歩んでまいりたいと思うのです。

## 新常議員挨拶



書記（副教区長） 岩切雄太

先日、5年生の息子が漢字検定の試験を受けにいきました。妻の半ば強引な勧めで受けることになった漢字検定。だけど、それから試験当日まで、彼はコツコツ漢字検定試験の勉強を続けました。彼は、毎日、帰宅するやいなやランドセルを所定の位置に置く時間さえおしんで遊びに行きます。しかし、「あ～楽しかった！」と遊びから帰ってくると……彼は学年でわずか数人の無習事人……犬の散歩、風呂掃除、宿題、そして新たな課題をこなします。そして、風呂に入り夕食を食べテレビを見て、読書（マンガ含む）をしつつ「ぐふふ」と笑いながら眠ります。我が息子ながら充実した日々を送っているなあ、と感心します。ルーティンワークをこなしつつ、新たな課題にも取り組む。楽しむ心（遊び）を忘れずに、一日を笑顔で終える。素敵だと思いませんか。

ところで、この文章は書記就任の挨拶です。ということで、私も、彼のように、書記の務めをはたしていきたいと思います。



会計・財務部長 山本光

箱崎教会の山本光と申します。3月の教区総会で会計と財務部長に選ばれました。これまで6年間教区選出信徒常議員として本教会常議員会に出席してきました。

九州教区が置かれた状況は、教会全体の問題としてみんなで考えていかなければならない課題でもあります。みんなで知恵や意見を出し合っ

て、各個教会、九州教区、そして全国の教会を支えていきましょう。2年間のブランクを経ての再登板です。毎週土曜日 BS で放映される「男はつらいよ」をかかさず観て平和な気持ちで日曜日の礼拝に出席する、寅さんをこよなく愛する私です（先日念願かなって葛飾柴又に行ってきました）。どうぞよろしく願いいたします。



伝道部長 角本浩

九州教区のみなさま、こんにちは。伝道部長の任を仰せつかりました角本です。伝道のために必要なこと。ずばり新来者の目線を意識することです。何年も通い慣れた私が居心地がいいだけではいけません。まだ見ぬ方がおいでになったとき「ここは居心地がいい」と思える教会であることです。それはだれかがやることではなく、あなたがやることです。普段当たり前に行っている「新来会者紹介」。突然見知らぬ人々の前で、立たされて名前を呼ばれて、果たして新来会者は喜んでいるのでしょうか。最近キリスト新聞社から発行された『もっと教会を歩きやすくする本』（八木谷涼子著）は、それぞれの教会のあり方を考えるのにヒントがあるかもしれません。関心ある方は読んでみてください。私も反省することが多々あります。空席のところにお座りになる方を温かくお迎えできるルーテル教会。みなさんと一緒に築いて行きたいです。



### 教育部長 立野泰博

28歳で西教区の教育部長に選ばれ、それから24年間ずっと行政に携わってきました。東日本大震災救援活動に派遣され、被災地に身を置いたとき「宣教現場に帰ろう」と決心しました。机に座っての働きではなく、現場に立つことの喜びを感じたからです。

大江・宇土教会の牧師として出身地で働くことは大変なこともあります。しかしそれ以上に喜びがあります。もういちど熊本からルーテル教会を元気にしたいと願っています。九州教区が、熊本が、本気で宣教をする時、ルーテル教会は元気を取り戻すことができると信じています。

教育部長の任を受け、中高生キャンプ、夏期聖書学校、教会学校、礼拝と音楽の学びなどのプログラムの継続がまず重要な働きです。しかし、すべてのことを宣教という視点で捉えなおしてみたいと考えています。教会が元気になる教育プログラムも考え、実行できればと思います。

楽しいことを共に考えてみませんか。教育部は楽しい働きです。



### 社会奉仕部長 内村公春

今年度、初めて社会奉仕部長に選任されました大江教会の代議員をしております内村公春と申します。この3月末をもって九州学院を退職し、4月からは、同じ熊本にある社会福祉法人慈愛園に勤めております。九州教区の常議員に選ばれましたことは、正直に言いまして、本当に予想していなかったことでした。とても驚くと同時に、果たして私にできるのかという不安な思いでいっぱいです。ただ神さまのお支えを祈りつつ、奉仕部にお願ひした方々と共に、この任をなんとか果たしていけるよう努力していきたいと思ひます。

まずは隣人に仕える働きとしてのこの社会奉仕部の活動が、具体的に何ができ、何に取り組んでいくのかを検討していきたいと思ひます。また昨年度までの社会奉仕部から与えられた課題である憲法問題に関しましても、引き続き取り組んでいきたいと思ひます。そしてこうした働きを通して、「地の塩、世の光」の一翼を担えるよう努力したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



### 信徒常議員 尾田明子

今期の九州教区信徒常議員の任を与えられました、室園教会の尾田明子と申します。教区総会に出席することは代議員の務めですが、総会に出席するのが2回目の私が、席上で信徒常議員という大きなお役をいただいて帰路に就くことなど想像もしていませんでした。総会の席上で選出された九州教区長の小泉先生の困惑された表情と先生の温かいお誘いの言葉に、うっかりお引き受けしてしまったのが正直なところです。

よく吟味する事や慎重に顧みることが日頃から全く苦手な私は、信徒常議員がどれほど重要な仕事なのかもよく理解しないまま、お引き受けしてしまいました。

引き返せないことに気づいた今は開き直って、ルーテル教会を愛して信仰生活を送る一人の女性としてならば、何か務めが果たせるかもしれないと考えるようになりました。気弱な人生を歩んできた私に神様が何を託してくださったのか、祈りながら役目を無事に果たしたいと願っております。皆様どうぞよろしくお支え下さい。

## 退任・転任・着任 挨拶



### 退任のご挨拶 濱田道明

「わたしは御名を彼らに知らせました。また、これからも知らせます」(ヨハネ 17 章 26 節)。牧師として、40 年間の働きを終え、3 月で引退をいたしました。九州では熊本・佐賀・長崎の三教会に遣わされ、23 年間の牧師生活を与えられました。

神さまの恵みのうちに守られ、多くの諸先生たち、信徒の皆さまに支えられ、励まされた幸せな歩みでした。感謝しております。

40年間の歩みは、一言で表現しますと、主のみ言葉の豊かさに圧倒されながら、聖書の豊かな宝の一部を語り続けたと歩みであったと信じています。いくら語っても語りつくせないみ言葉です。しかし、聞いてくださる信徒の方々と共に、耳を傾けて、聖書を読み続け、説き続ける生活は楽しかったような、一所懸命な時間だったような気がしております。

「神の言葉はむなしくは帰らない」ことを信じて、これからは夫婦でゆっくりと教会生活を送りつつ、九州教区の諸教会・諸施設、その他の多くの働きをお祈りしております。



### 転任のご挨拶 日本福音ルーテル静岡教会牧師 富島裕史

この街で生まれ、この街で育ち、そして母教会と母校のある街、熊本。九州学院のチャプレンとして赴任して10年で転任となりました。この間、皆様にはいろいろお世話になったことを心より感謝申し上げます。チャプレンとしての働きは辛いこともありましたが、私にとってはとても充実した時を過ごさせていただきました。1年目には、朝6時にはチャペルの掃除と祈り、早朝から練習をしている陸上部長距離の生徒たちと一緒にグラウンドを走ったり、剣道部の練習にも参加していました。

九州学院には中学1年生から高校3年生の生徒がいます。まだ小学生のような幼さが残っている子どもたち、九重で行われる全校キャンプでの自己紹介のビデオを見ると涙が出て止まりません。何人の生徒たちが九州学院を巣立って行ったのでしょうか。13歳から18歳の大きく成長していく生徒と共に歩めたことは、私の貴重な宝物となりました。最後に、天国におられる恩師、谷口恭教先生から私に贈られた言葉を紹介させていただきます。「弱さをさらけ出して生きる人は強い。愛する富島先生へ」 感謝



### 着任のご挨拶 九州学院チャプレン 小副川幸孝

満開の桜が咲いた春本番の熊本に来て、九州学院のチャプレンに就任いたしました。着任後すぐに始業式や入学式といった学校行事が続き、生活に慣れないこともあって、慌ただしく日々が過ぎ去っていくようでした。

しかし、考えてみれば、熊本での働きをするということは、わたしの場合は「帰還」という感じがしています。そして、旧約の民がバビロニア捕囚から帰還した時に、まず初めに神を礼拝する神殿の再建に取り掛かったことを思い起こしました。神の祝福の約束を信じて旅立ったアブラハムも、その旅路で訪れた地で最初にしたのは祭壇を築いて礼拝をしたことだと聖書は伝えます。だから、チャプレンの仕事は多岐に亘っていますが、まずは礼拝から始めよう。そんなふうに思っています。

多くのお支えに感謝します。今後とも宜しくお願いたします。

## 日本福音ルーテル教会九州教区第44回定期総会報告

書記 岩切雄太

2014年3月20-21日に日本福音ルーテル教会九州教区第44回定期総会が、箱崎教会を会場に行われました。教区総会は「(九州教区の)意思決定@教区規則4条」するために2年に1度開催されます。どんなことを(意思)決定するののかというと、教区規則には、次のような事項が記されています。(1)教区内教会の教勢進展及びそれに関する立案(2)本教会の決議事項の実施(3)教区常議員会処理事項の審議及び承認(4)教区の収支、予算決算の審議及び監査(5)教区内部、各委員会処理事項の審議及び承認(6)教区内の教会組織に関する事項(7)教区役員、常議員、各部部长及び諸委員の選挙(8)教区内牧師の人事に関する事項(9)教区内宣教師の任地に関する事項(10)本教会の経営または関係する諸施設との連絡及び協力(11)戒規に関する事項(12)本教会総会へ提出する議案に関する事項(13)その他必要な事項。

さて、これらに照らしてみると、今回の総会では、教区常議員会・地域教師会・諸委員会の報告(3)(5)(8)、学校・施設の報告(10)等がなされ、2012年度教区活動報告書の承認(3)、2013年度決算(監査)及び2014年度予算、2015年度・2016年度当初予算(4)、九州教区宣教方策・教区主要行事(1)、神水教会規則変更・大江教会宇土教会の連立申請(6)(12)、特別協力金算定法一部改正(11)等について協議を行い(たくさんの有意義な意見と共に)、それぞれ決定(承認)をしました。また、新たな教区役員(教区長・書記・会計)、(信徒)常議員、各部部长(伝道・教育・社会奉仕)、諸委員(法規・資格審査・監査・報告審査)の選出(7)がなされました。ところで、このように記すと、報告をお読みになる皆さんは、あまり面白くないと感じられるかもしれません。しかし、私たち日本福音ルーテル教会九州教区の各教会が、ルールに沿ってみんなで話し合い(ときには意見の違いでぶつかることもあります)「意思決定」していることを知っていただきたい、と思うのです。私たちが信仰の先達から受け継いできたものを、大切に守り、そして次世代に引き継いでいくためには、一見するともどかしいルーティンが必要なのでしょう。と、同時に、九州教区の35の教会、42の施設(学校、幼稚園・保育園、施設)の多様な働きとそれぞれの協同の中に、ルーテル教会の永続性を感じずにはいられない総会であったことを記して、報告に変えさせていただきます。



第44回九州教区定期総会 集合写真

**第46回九州教区壮年連盟修養会・総会のご案内**

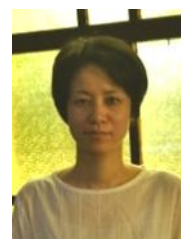
福岡地区の担当で2014年9月22日(月)～23日(火・祝)、箱崎教会を会場として開催いたします。今年は、九州各地の壮年はもとより女性会や青年会にも呼びかけ、できるだけ多くの方々とのおわり・学びの時を持ちたいと計画を進めています。修養会の講師は、ルーテル学院大学の金子和夫先生で、「映画『三丁目の夕日』に見る地域福祉」をテーマとしてお話しいただく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



壮年連盟会長  
山口邦久

**女性会報告**

3月に行われた春のteensキャンプへ九州教区からもたくさんの子供たちが参加しました。教区女性会会報「みちしるべ」へ寄稿してくれた感想文を読んでいると、豊かな出会いと恵みがあったことを伺い知ることができ、私たちも励まされました。キャンプ支援は教区女性会の大切な働きの一つです。8月の教区中高生キャンプで子どもたちの成長をみることも大きな楽しみです。若き日に主を憶える子どもたちを祈り支えていきたいと思ひます。



女性会会長  
岩切 旻世

**青年会報告**

主の御名を讃美します。  
いつも青年のためにお祈り頂き感謝致します。  
今年度の九州教区青年担当は博多教会の池谷先生にお願いしました。色々相談しながら活動していきます。4月には箱崎教会で聖研と新青年歓迎バーベキュー(青年15名、子供たちも含め約30名の参加)6月には神水教会で聖研とボウリングの会をしました。(中学生2名を含む9名参加)、ボウリングではつつい力が入り、3ゲームもしました。  
また、今年も活動資金のために島原そうめんの販売にご協力をお願いいたします。



青年会会長  
因 てい子

**教区夏の行事予定**

- ◆中高生キャンプ 8月5日(火)～7日(木) 阿蘇山荘  
主題:『主よ、その水をください?』 申込先:大江教会 立野牧師(096-371-4731)  
参加費:7,000円(きょうだい割引あり) 申込締切:7月21日(月)
- ◆夏期聖書学校 8月8日(金)～9日(土) 阿蘇山荘  
主題:『祈り』 申込先:大江教会 立野牧師(096-371-4731)  
参加費:3,500円(県外参加者交通費補助あり) 申込締切:7月21日(月)
- ◆るうてる法人会連合研修会 8月26日(火)～27日(水) 九州学院  
主題:『ミッションに生きる』～私達の働きは、何を指すのか、どう実現していくのか～  
申込先:ルーテル学院中学高校 林田博文 master@luther.ed.jp/FAX:096-343-3455  
会費2,000円(一日参加も同額)/交流会費5,000円 申込締切:7月25日(金)

各プログラムの詳細は各教会牧師までお尋ねください。